

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (芸術科 書道)		
	単元(題材)名	漢字一字書作品を創作しよう(大字)		
	単元(題材)の目標	自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫する。 文字の大きさや配置、余白など、構成を工夫し、全体が調和した表現を目指す。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad のアプリケーションで絵を描いたりすることが好きであり、タブレットで構想を練ることができる。 ・ 筆で作成すると書き直しができないため、何度も構想を練るが納得がいかず、かなりの時間を要してしまう。 ・ 教師に手本を書いて欲しいと依頼することがある。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、ApplePencil、書画カメラ(実物投影機)		
	使用したアプリケーションの名称	Zen Brush 3		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーション「Zen Brush 3」を使用し、今まで学習した技能で、書作品を創作できると考えたため活用した。 ・ 「Zen Brush 3」は、書き直しが何度もでき、筆で構想を練るための時間を短縮できると考えられたため活用した。 ・ 書画カメラ(実物投影機)で、運筆、作品の余白、構成などを確認するため活用した。 			
活用の状況と支援	Zen Brush 3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決めた文字の大きさ、配置、余白、構成などに注意し、アプリケーションで手本を創作することができた。 ・ 一画一画を納得いくまでやり直しができるので、すぐに作品の構想を提出することができた。 ・ 何パターンも構想を練り、教師に提示できるようになった。添削・確認を終えた後、印刷し手本として活用できた。 ・ 手本が欲しいと教師に依頼する回数が減った。 書画カメラ <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆で表現する際に、教師が運筆をその場で投影し、生徒に提示した。 ・ 運筆をその場で確認でき、再現できるようになってきた。 			